

Bangladesh North-east Haor Area Climate Change Adaptive Agriculture Expansion Project Climate change adaptive agriculture expansion project in Haor area, north-east Bangladesh

活動地域  バングラデシュ

ひろげる助成

3年目

実践

対象農民の収量増加率	16%
新品種米の種粉供給量	37.73 t
今年度計画の達成度	80%
全体計画の達成度	100%



ハオール地域で最も早い刈り取り

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

ハイブリッド米の普及により、これまで自家採種して保存されていた種子を毎年購入することになり、高収量品種を栽培しても自家保存しなくなっていること。

■ 工夫した点

行政との連携、マスメディアの利用を通じ対象農民だけでなく広く気候変動による農業の問題について理解を促進した。

課題

気候変動により不安定になっている自然災害（フラッシュフラッド・冷害）に対する農業支援（新品種の導入と作付け体系の見直し）

目標

- ① 農民への研修と種子生産が行われる
- ② 基盤整備に着手し、関連諸機関との関係が構築される
- ③ 成果を対象地域外に発信する

活動内容と成果

- ① すべての農家が、気候変動に適応した新しい高品種の米を栽培し、より高い収量を得た。また、対象農家の半数が2期作に挑戦し、これまで収穫できなかった雨期後期作（アマン稲）と2毛作（ロビ作：オイルシード・豆類・野菜等）を栽培することで、収益を向上させた
- ② 期中約900mにわたり、水路を浚渫し、掘削した土で堤防と運搬用道路を整備した
- ③ 関連農業行政が新品種の普及に向けて種子生産と普及活動を開始した



水路の掘削と農道の整備

全助成期間の活動を振り返って

（対象農民：100世帯）

事業開始前に乾期稲作時栽培されていた品種は、ほぼすべて新品種に置き換わった。

（対象外地域農民）

事業開始当初、協力的ではなかった農業開発公社（BADC）が、2022年度から新品種米の種子生産を始め合計33,230kgを生産し販売した。またプロジェクトでは合計4,500kgの種子生産を行った。

以上から普及に向けた体制はおおむね達成されたといえる。



যবিপঞ্জে বোরো চাষ
নতুন জাতের ধানের সাথে পরিচিত নয় অনেক চাষি
Jamuna TV

全国放送で取り上げられた

House No. 5485/3, Rajnagar R/A, Habigonj-3300, Bangladesh
 電話：+880-831-63951
 E-mail：asedbd.org@gmail.com
 HP：http://www.asedbd.org/



今後の展望

本事業で導入した新しい高収量品種米がハオール地域全体に広がれば、コメの増産による生産者の生計向上が図られるだけでなく、バングラデシュの食糧安全保障にも貢献することができる。今後は政府だけでなく、NGOや民間企業もその一翼を担うことでより高次元での気候変動適応化農業を普及できると考えている。 活動の様子 (TV放送) <https://youtu.be/ZVFHb-1K09s>

